

年齢・体重別小児投与量早見表

# エピナスチン塩酸塩DS小児用1%「トローワ」

アレルギー性鼻炎

年齢	標準体重	有効成分として	DSとして
		1回量(mg)	1日量(g) [1日1回]
3歳以上	14kg以上	5~10	0.5~1
7歳未満	24kg未満		
7歳以上	24kg以上	10~20	1~2

体重(kg)	有効成分として	DSとして
	1回量(mg) (0.25~0.5mg/kg)	1日量(g) [1日1回]
14	3.5~7.0	0.35~0.70
16	4.0~8.0	0.40~0.80
18	4.5~9.0	0.45~0.90
20	5.0~10.0	0.50~1.00
22	5.5~11.0	0.55~1.10
24	6.0~12.0	0.60~1.20
26	6.5~13.0	0.65~1.30
28	7.0~14.0	0.70~1.40
30	7.5~15.0	0.75~1.50
32	8.0~16.0	0.80~1.60
34	8.5~17.0	0.85~1.70
36	9.0~18.0	0.90~1.80
38	9.5~19.0	0.95~1.90
40	10.0~20.0	1.00~2.00

蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒

年齢	標準体重	有効成分として	DSとして
		1回量(mg)	1日量(g) [1日1回]
3歳以上	14kg以上	10	1
7歳未満	24kg未満		
7歳以上	24kg以上	20	2

体重(kg)	有効成分として	DSとして
	1回量(mg) (0.5mg/kg)	1日量(g) [1日1回]
14	7.0	0.7
16	8.0	0.8
18	9.0	0.9
20	10.0	1.0
22	11.0	1.1
24	12.0	1.2
26	13.0	1.3
28	14.0	1.4
30	15.0	1.5
32	16.0	1.6
34	17.0	1.7
36	18.0	1.8
38	19.0	1.9
40	20.0	2.0

【用法・用量】

1.アレルギー性鼻炎

通常、小児には1日1回0.025~0.05g/kg(エピナスチン塩酸塩として0.25~0.5mg/kg)を用時懸濁して経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。ただし、1日投与量はドライシロップとして2g(エピナスチン塩酸塩として20mg)を超えないこと。

年齢別の標準投与量は、通常、右記の用量を1日量とし、1日1回用時懸濁して経口投与する。

年齢	標準体重	1日用量
3歳以上	14kg以上	0.5~1g (エピナスチン塩酸塩として5~10mg)
7歳未満	24kg未満	
7歳以上	24kg以上	1~2g (エピナスチン塩酸塩として10~20mg)

2.蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒

通常、小児には1日1回0.05g/kg(エピナスチン塩酸塩として0.5mg/kg)を用時懸濁して経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。ただし、1日投与量はドライシロップとして2g(エピナスチン塩酸塩として20mg)を超えないこと。

年齢別の標準投与量は、通常、右記の用量を1日量とし、1日1回用時懸濁して経口投与する。

年齢	標準体重	1日用量
3歳以上	14kg以上	1g (エピナスチン塩酸塩として10mg)
7歳未満	24kg未満	
7歳以上	24kg以上	2g (エピナスチン塩酸塩として20mg)

【使用上の注意】小児等への投与

- 1) 低出生体重児、新生児、乳児に対する安全性は確立していない。[低出生体重児、新生児には使用経験がない。乳児には使用経験は少ない。]
- 2) 小児気管支喘息に対する本剤の有効性及び安全性は確立していない。

●その他の詳細につきましては製品添付文書をご参照ください●